

平成 27 年度

1 2 月補正予算の主な事業説明書

諫 早 市

## 目 次

※諫早市総合計画の政策施策体系にもとづき整理したもの。

【】書は、政策施策体系の「基本目標」、◎印は「まちづくりの羅針盤」

ページ

### 【輝くひとづくり】

#### ◎健やかなひとづくり

学校施設耐震補強・老朽改修事業…………… 1

災害復旧事業（文教施設）…………… 2

### 【活力ある産業づくり】

#### ◎魅力ある農林水産業

災害復旧事業（農地・農業用施設、林道）…………… 2

### 【暮らしの充実】

#### ◎支え合う暮らし

輪番制病院医療機器整備助成事業…………… 3

#### ◎安全安心な暮らし

防災行政無線第二次デジタル化整備事業《新規》…………… 4

県営事業市負担金一覧表…………… 5

# 学校施設耐震補強・老朽改修事業

## 総合計画の位置付け

【輝くひとづくり】 ◎健やかなひとづくり

## これまでの経緯及び目的

耐震補強が必要とされる学校施設について、緊急性の高い施設から、順次、耐震補強工事を実施し、学校施設の耐震化を図るとともに、老朽化した施設の改修を実施し、児童生徒と地域住民の安全確保等を図る。また、本件をもって全ての小中学校の耐震化が完了する。

## 事業概要

- 《 事業主体 》 諫早市
- 《 事業期間 》 平成17年度～
- 《 事業内容 》 I s 値（構造耐震指標）0.7未満の校舎及び屋内運動場について、耐震補強及び老朽改修工事を実施する。

## 事業費

当初予算事業費	1,071,210 千円
12月補正事業費	1,133,436 千円
(財源内訳) 国庫支出金	
地方債	287,756 千円
一般財源	840,200 千円
	5,480 千円

## 年度別事業内容

26年度以前	27年度		28年度以降
	当初	12月補正	
耐震補強・老朽改修工事 (校舎) 小野小 他17校 (屋内運動場) 小野小 他23校	耐震補強・老朽改修工事 (校舎) 北諫早小、有喜小 真崎小、喜々津小 小長井小、飯盛中 高来中、小長井中	耐震補強・老朽改修工事 (校舎) 北諫早小、有喜小 本野小、真崎小 西諫早小、大草小 森山西小、長里小 小長井小、小野中 長田中	老朽化した施設の 改修を継続して 実施

## 事業実施による効果

学校施設の耐震化と老朽化した施設の改修により、良好な教育環境が整備される。  
 また、本件をもって全ての小中学校の耐震化が完了し、児童生徒の安全・安心が確保される。

## 事業担当課

教育委員会 教育総務課

(12款-2項-2目-学校施設整備事業)

# 災害復旧事業

## 総合計画の位置付け

【活力ある産業づくり】   ◎魅力ある農林水産業  
 【輝くひとづくり】       ◎健やかなひとづくり

## これまでの経緯及び目的

8月～9月の豪雨や台風により被災した農地・農業用施設及び林道の速やかな復旧を図る。  
 また、8月25日に上陸した台風15号により被災した学校施設の速やかな復旧を図る。

## 事業概要

《事業主体》 諫早市  
 《事業期間》 平成27年度  
 《事業内容》 農地・農業用施設及び林道の復旧  
                   農地           16箇所（田   16箇所）  
                   施設           3箇所（水路 2箇所   ため池 1箇所）  
                   林道           1箇所  
                   合計           20箇所

文教施設の復旧  
 高来西小学校屋内運動場屋根葺き材の破損復旧工事  
 （屋根段葺・ルーフィング39.2㎡他）

## 事業費

	＜農地・農業用施設＞	＜林道＞
総事業費	98,000千円	2,140千円
当初予算事業費	20,000千円	
9月補正事業費	45,000千円	
12月補正事業費	33,000千円	2,140千円
(財源内訳) 県支出金		
	22,050千円	1,391千円
	9,800千円	600千円
	1,150千円	149千円

### ＜文教施設＞

12月補正事業費	1,894千円
(財源内訳) 国庫支出金	
	1,127千円
	500千円
	267千円

## 事業実施による効果

豪雨や台風により被災した農地・農業用施設及び林道を速やかに復旧することにより、農林業経営の安定と国土の保全が図られる。

また、台風の暴風により被災した学校施設を速やかに復旧することにより、児童・生徒の安全を確保し、授業への支障防止が図られる。

## 事業担当課

農林水産部 農地保全課  
 農林水産部 林務水産課  
 教育委員会 教育総務課

(13款-1項-1目-農地農業用施設災害復旧事業)

(13款-1項-2目-林道災害復旧事業)

(13款-3項-1目-文教施設災害復旧事業)

# 輪番制病院医療機器整備助成事業

## 総合計画の位置付け

【暮らしの充実】 ◎支え合う暮らし

## これまでの経緯及び目的

休日及び夜間の二次救急医療を担う輪番制病院における必要な医療機器の整備を支援し、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るもの。

## 事業概要

《事業主体》 日本赤十字社 長崎原爆諫早病院  
 《事業期間》 平成27年度  
 《事業内容》 医療機器更新に対する補助  
     ・超音波診断装置一式  
     ・内視鏡装置一式  
     総事業費 31,353千円  
     (うち補助対象事業費 21,600千円)  
     補助率 国・県：2/3 市：1/3

## 事業費

12月補正事業費	21,600千円
(財源内訳) 県支出金	
	14,400千円
	一般財源 7,200千円

## 年度別事業内容

26年度以前	27年度	28年度以降
	12月補正	
・H20年度 血液ガス分析装置一式 更新費補助 ・H22年度 血管内超音波画像診断 装置一式更新費補助	・超音波診断装置一式更新費補助 ・内視鏡装置一式更新費補助	・継続して実施

## 事業実施による効果

今回の機器を更新することにより、より正確な診断を迅速かつ効率的に行うことが可能となり、地域医療の更なる充実が図られる。

## 事業担当課

健康福祉部 健康福祉センター

# 防災行政無線第二次デジタル化整備事業<新規>

## 総合計画の位置付け

【暮らしの充実】 ◎安全安心な暮らし

## これまでの経緯及び目的

平成25年度、第一次整備として、未整備であった諫早地域での新規整備と支所地域の既存アナログ設備を活かした制御統合を実施し、全市的な防災情報伝達の中核をなす設備の整備、一元化を行った。さらに、支所地域の既存子局設備の老朽化対応及び国方針であるデジタル化が急務であることから、早期に全市域の設備の安定稼働を担保するため第二次整備（支所地域）に着手するもの。

## 事業概要

- 《事業主体》 諫早市
- 《事業期間》 平成27年度
- 《事業内容》 支所地域の既存アナログ子局のデジタル化及び再配置を行うこととし、そのための調査設計業務を行う。

## 事業費

総事業費	40,000 千円
12月補正事業費	40,000 千円
(財源内訳) 地方債	40,000 千円

## 年度別事業内容

26年度以前	27年度		28年度以降
	当初予算	12月補正	
平成24～25年 防災行政無線整備事業  ・第一次整備（諫早地域）デジタル化新規整備	防災行政無線機能強化整備事業  ・第一次整備分機能強化整備	第二次デジタル化整備事業（支所地域）  ・調査設計業務	第二次デジタル化整備事業（支所地域）  ・基盤工事 ・設備工事

## 事業実施による効果

全市域の防災行政無線設備がデジタル化され、支所地域の設備が更新されることにより設備全体の稼働安定性を高めることができるため、迅速確実な防災情報伝達手段が強化され、市民のより安全安心な暮らしを実現することができる。

## 事業担当課

総務部 総務課

(11款-1項-1目-機器等整備事業)

## 県営事業市負担金一覧表

### 1 農林水産関係

#### (1) 自然災害防止事業

(単位：千円)

事業名	事業費	市負担金	事業期間	施行内容
県営自然災害防止事業 (西出口ため池)	2,000	500	継続 H27	堤体補修工 L=21.0m

※農林水産関係合計 事業費 2,000千円 市負担金 500千円

### 2 平成27年度 県営事業市負担金合計

(単位：千円)

項 目	事業費合計 (A)	市負担金合計 (B)	(A) / (B)
農林水産関係 計	676,684	94,081	7.19
現計予算	674,684	93,581	7.21
12月補正	2,000	500	4.00
建設関係 計	606,880	89,140	6.81
現計予算	606,880	89,140	6.81
合 計	1,283,564	183,221	7.01